

はなみずき

学校教育目標
「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

自由！ 権利！ 義務！

私は、時々、バスに乗ったり、電車に乗ったりしてでかけると、乗っている人たちの中に、気になる人がいます。たとえば、こんな人たちです。

大勢のお客で混み合っているバスの中で、大声で話をしている学生さんがいました。前日に長電話をした続きのようでした。また、携帯電話に夢中になっていて、運転手さんが、「混み合ってきましたので、順に前へ詰めてください」と言っているのに、動こうとしません。

次に、電車に乗った時のことです。ホームに電車が入ってきました。電車が止まって出入り口のドアが開きました。するとどうでしょう。そこに、高校生が床に腰をおろしているのです。私が乗ってきたので、少し通路を空けました。私は、「ここは、通路だから危ないよ」と言いました。高校生は、私のことをじろっと見て、黙っていました。

電車の中に入っていくと、二人掛けの椅子に一人の男子高校生が大股を広げて一人で座っていました。私は、「ここ空いていますか」と、大きな声で聞きました。すると、高校生は黙って大きな足を引っ込めて席を空けました。私は、「ありがとう」と言って、座りました。

次の駅で電車が止まると、向こうの出入り口から、少し腰の曲がっているおばあさんが乗ってきました。近くに、別の高校生が大股を広げて二人分の席に座って、知らないふりをしていました。おばあさんは、電車の柱にしっかりつかまっていました。三つ目の駅で、高校生たちは電車を降りていきました。おばあさんは、やっと空いた席に腰を下ろしました。

私は、あの高校生が、おばあさんに席を譲っていたらよかったのにと残念に思います。

コンビニの前や駅では、地面に腰を下ろして足を広げている人を見たことがあります。お客さんの邪魔です。また、携帯電話を使いながら道路を歩いたり自転車に乗ったりする人も見たことがあります。

これらの人たちの判断力（自由！ 権利！ 義務！）は、どうでしょうか？

本校では、目指す児童像「正しく判断できる子」を受けて、来年度も道徳科の研究を続けてまいります。

保護者・地域の皆様、どうか私たち大人が手本を示すようにしていきましょう。

